

9月の果実の見通し

令和3年8月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 岩手 など	4806	95%	5376	331	並み	293	429	8.9%	令和2年度の青森県産貯蔵りんごは、前年度の半減とは違い例年並みの数量があった。3年度の露地りんごは、天候による被害を受けている地域もあり、秋りんごの数量は全体的に若干減と見込まれる。一部地域で8月は想定以上の雨量と低温による影響が今後の出荷に影響がでる可能性もあるが、寒暖の差があるため、色付きは良好であると推測する。青森県産「つがる」は9月初旬にスタートしてくると全体的に数量が増加し、現在の価格推移も例年並みであるため、秋果実の販売品目としては堅調な動きが継続していくと思われる。
日本なし類	栃木 茨城 千葉 など	5849	110%	9157	513	並み	329	22	0.4%	「幸水梨」全体の入荷量は7～8月中旬で数量は前年の109%、単価も110%と前年を上回った。産地の前情報より大きく前進出荷とはならず、入荷量と売り込み数量が一致せず旧盆前までは、終始引き合いが強くなった。「豊水梨」も前年より入荷量は多くなりそうだが、産地情報と入荷量が一致しなかった「幸水梨」の販売から、前年より出荷数量が多くても前年並みの高単価が予想される。
ぶどう類	長野 山梨 岡山 など	4301	105%	4565	1405	高い～ 並み	1115	353	8.2%	9月からは秋果実として「露地ぶどう」が取り上げられる。各産地黒系品種からの転作で「シャインマスカット」が増量する予定。山梨産は上旬、長野・岡山産は中下旬からピークの予定。8月の高温と雨の影響で糖度の上がりが遅いことから、出荷ペースは当初予定より遅れる見通しだが20日頃は多くなる。山形産「テラウエア」は9月いっぱい販売できる予定。
もも類	福島 山形 など	897	85%	1413 *	735	並み	542 *	229	25.5%	8月下旬の販売は福島・山形・長野・新潟となっていたが出荷量は前年に比べ少なく、8月で長野・新潟産はほぼ終了となり、9月に入って福島・山形産の販売となり入荷量が少なく全体量は落ち込む。前年は10月上旬まで販売はあったが本年度は9月いっぱいまで販売はあったが本年度は9月いっぱいまで終了となる。「秋分の日」頃までは高値が続きそう。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果機)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)

* 4ヶ年平均